

当PDF文書は上に示されている企業に関する詳細レポートのアップデート版として作成されたものです。  
 詳細レポート全体につきましては[弊社ウェブサイト](#)をご覧ください。

2019年7月4日、株式会社クリーク・アンド・リバー社は、2020年2月期第1四半期決算を発表した。

#### 四半期業績推移

四半期業績 (累計) (百万円)	19年2月期				20年2月期			20年2月期 (進捗率) 上期会予		20年2月期 (進捗率) 通期会予		
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q				
売上高	7,367	14,819	22,084	29,569	8,233				50.2%	16,400	24.9%	33,000
(前年比)	-4.1%	4.5%	8.8%	10.7%	11.8%				10.7%			11.6%
売上総利益	3,087	5,891	8,613	11,366	3,419							
(前年比)	7.9%	7.8%	10.3%	11.8%	10.8%							
売上総利益率	41.9%	39.8%	39.0%	38.4%	41.5%							
販管費	2,313	4,626	7,220	9,787	2,631							
(前年比)	10.2%	9.7%	14.2%	17.1%	13.8%							
売上高販管費比率	31.4%	31.2%	32.7%	33.1%	32.0%							
営業利益	774	1,265	1,393	1,579	788				60.6%	1,300	33.5%	2,350
(前年比)	1.7%	1.5%	-6.3%	-12.6%	1.9%				2.8%			48.8%
営業利益率	10.5%	8.5%	6.3%	5.3%	9.6%				7.9%			7.1%
経常利益	770	1,256	1,392	1,585	790				60.8%	1,300	33.6%	2,350
(前年比)	0.6%	0.2%	-6.1%	-13.1%	2.6%				3.5%			48.2%
経常利益率	10.5%	8.5%	6.3%	5.4%	9.6%				7.9%			7.1%
四半期純利益	455	738	811	970	507				63.3%	800	34.9%	1,450
(前年比)	-1.1%	0.6%	-6.6%	-12.1%	11.4%				8.4%			49.5%
四半期純利益率	6.2%	5.0%	3.7%	3.3%	6.2%				4.9%			4.4%

  

四半期業績 (百万円)	19年2月期				20年2月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	7,367	7,452	7,265	7,485	8,233			
(前年比)	-4.1%	14.8%	18.8%	16.7%	11.8%			
売上総利益	3,087	2,804	2,722	2,753	3,419			
(前年比)	7.9%	7.7%	16.0%	16.9%	10.8%			
売上総利益率	41.9%	37.6%	37.5%	36.8%	41.5%			
販管費	2,313	2,313	2,594	2,567	2,631			
(前年比)	10.2%	9.1%	23.2%	26.0%	13.8%			
売上高販管費比率	31.4%	31.0%	35.7%	34.3%	32.0%			
営業利益	774	491	128	186	788			
(前年比)	1.7%	1.4%	-47.0%	-41.7%	1.9%			
営業利益率	10.5%	6.6%	1.8%	2.5%	9.6%			
経常利益	770	486	135	193	790			
(前年比)	0.6%	-0.6%	-40.8%	-43.4%	2.6%			
経常利益率	10.5%	6.5%	1.9%	2.6%	9.6%			
四半期純利益	455	284	73	158	507			
(前年比)	-1.1%	3.5%	-45.9%	-32.5%	11.4%			
四半期純利益率	6.2%	3.8%	1.0%	2.1%	6.2%			

出所：会社データよりSR社作成

\*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

\*四半期純利益は親会社株主に帰属する四半期純利益。

**セグメント別四半期業績推移**

四半期業績推移 (累計)		19年2月期				20年2月期		
(百万円)	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q
売上高	7,367	14,819	22,084	29,569	8,233			
(前年比)	-4.1%	4.5%	8.8%	10.7%	11.8%			
クリエイティブ分野 (日本)	5,303	10,729	16,349	22,213	5,927			
(前年比)	9.8%	14.3%	16.0%	16.3%	11.8%			
医療分野	1,182	2,328	3,063	3,709	1,322			
(前年比)	3.3%	0.9%	4.6%	4.2%	11.8%			
会計・法曹分野	493	942	1,440	1,952	514			
(前年比)	11.2%	3.5%	5.4%	8.1%	4.3%			
その他	442	953	1,425	1,913	514			
(前年比)	-	42.3%	33.2%	31.2%	16.3%			
消去または全社	-53	-134	-193	-217	-43			
営業利益	774	1,265	1,393	1,579	788			
(前年比)	1.7%	1.5%	-6.3%	-12.6%	1.9%			
クリエイティブ分野 (日本)	414	649	840	1,072	344			
(前年比)	12.8%	20.4%	2.4%	-7.2%	-16.8%			
医療分野	365	638	600	533	472			
(前年比)	-3.9%	-4.1%	3.2%	-7.3%	29.4%			
会計・法曹分野	40	43	80	146	56			
(前年比)	17.7%	-40.9%	-33.7%	-1.1%	40.9%			
その他	-35	-52	-119	-182	-79			
(前年比)	-	-	-	-	-			
消去または全社	-10	-14	-8	9	-5			
経常利益	770	1,256	1,392	1,585	790			
(前年比)	0.6%	0.2%	-6.1%	-13.1%	2.6%			
四半期純利益	455	738	811	970	507			
(前年比)	-1.1%	0.6%	-6.6%	-12.1%	11.4%			

  

四半期業績推移 (3ヵ月)		19年2月期				20年2月期		
(百万円)	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	7,367	7,452	7,265	7,485	8,233			
(前年比)	-4.1%	14.8%	18.8%	16.7%	11.8%			
クリエイティブ分野 (日本)	5,303	5,426	5,619	5,864	5,927			
(前年比)	9.8%	19.1%	19.4%	17.0%	11.8%			
医療分野	1,182	1,145	735	645	1,322			
(前年比)	3.3%	-1.5%	18.1%	2.8%	11.8%			
会計・法曹分野	493	449	498	512	514			
(前年比)	11.2%	-3.8%	9.3%	16.2%	4.3%			
その他	442	511	472	488	514			
(前年比)	-	-	-	-	-			
消去または全社	-53	-80	-59	-24	-43			
営業利益	774	491	128	186	788			
(前年比)	1.7%	1.4%	-47.0%	-41.7%	1.9%			
クリエイティブ分野 (日本)	414	236	191	232	344			
(前年比)	12.8%	36.7%	-32.1%	-30.7%	-16.8%			
医療分野	365	274	-38	-67	472			
(前年比)	-3.9%	-4.5%	-	-	29.4%			
会計・法曹分野	40	3	37	66	56			
(前年比)	17.7%	-91.3%	-22.6%	143.3%	40.9%			
その他	-35	-18	-67	-63	-79			
(前年比)	-	-	-	-	-			
消去または全社	-10	-4	5	18	-5			
経常利益	770	486	135	193	790			
(前年比)	0.6%	-0.6%	-40.8%	-43.4%	2.6%			
四半期純利益	455	284	73	158	507			
(前年比)	-1.1%	3.5%	-45.9%	-32.5%	11.4%			

出所：会社データよりSR社作成

\*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

\*四半期純利益は親会社株主に帰属する四半期純利益。

\*2019年2月期第1四半期以降、従来その他に含まれていた会計・法曹分野を報告セグメントとして独立した。

\*2020年2月期第1四半期より、「クリエイティブ分野 (韓国)」は量的な重要性が低下したため報告セグメントから除外し、「その他」に含めた。2019年2月期は変更後のセグメント区分に組み替えた参考値である。

**連結領域別業績推移**

四半期業績 (累計) (百万円)	19年2月期				20年2月期			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q
売上高	7,367	14,819	22,084	29,569	8,233			
前年比	-4.1%	4.5%	8.8%	11.2%	11.8%			
TV/映像	1,370	2,786	4,240	5,766				
前年比	0.2%	8.5%	1.9%	4.3%				
ゲーム	1,635	3,408	5,256	7,422				
前年比	5.3%	10.8%	21.6%	25.2%				
Web	1,702	3,230	4,814	6,505				
前年比	10.7%	10.1%	11.9%	13.3%				
医療	1,171	2,312	3,026	3,637				
前年比	2.3%	0.6%	4.2%	3.2%				
会計	435	830	1,303	1,715				
前年比	8.8%	2.7%	7.0%	7.0%				
電子書籍・著作権	383	845	1,303	1,685				
前年比	-	-	-	-				
営業利益	774	1,265	1,393	1,579	788			
前年比	1.7%	1.5%	-6.3%	-1.9%	1.9%			
TV/映像	48	86	187	249				
前年比	-70.1%	-61.2%	-31.8%	-23.3%				
営業利益率	3.5%	3.1%	4.4%	4.3%				
ゲーム	221	391	581	742				
前年比	32.2%	28.6%	18.7%	6.7%				
営業利益率	13.5%	11.5%	11.1%	10.0%				
Web	154	224	345	475				
前年比	17.6%	3.9%	33.5%	44.6%				
営業利益率	9.0%	6.9%	7.2%	7.3%				
医療	360	603	578	513				
前年比	-5.1%	-9.5%	0.2%	-10.1%				
営業利益率	30.7%	26.1%	19.1%	14.1%				
会計	36	29	85	120				
前年比	33.6%	-40.1%	-7.8%	7.2%				
営業利益率	8.2%	3.5%	6.5%	7.0%				
法曹	4	11	-	21				
前年比	-43.5%	-54.3%	-	-40.2%				
電子書籍・著作権	57	114	175	204				
前年比	-	-	-	-				
営業利益率	14.9%	13.5%	13.5%	12.1%				
他	-106	-195	-559	-745				

  

四半期業績 (百万円)	19年2月期				20年2月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	7,367	7,452	7,265	7,485	8,233			
前年比	-4.1%	14.8%	18.8%	14.0%	11.8%			
TV/映像	1,370	1,416	1,454	1,526				
前年比	0.2%	18.1%	-8.8%	11.5%				
ゲーム	1,635	1,773	1,848	2,166				
前年比	5.3%	16.3%	48.3%	34.8%				
Web	1,702	1,529	1,584	1,691				
前年比	10.7%	9.4%	15.8%	17.4%				
医療	1,171	1,140	714	611				
前年比	2.3%	-1.0%	17.9%	-1.9%				
会計	435	395	473	412				
前年比	8.8%	-3.3%	15.5%	7.1%				
電子書籍・著作権	383	462	458	382				
前年比	-	-	-	-				
営業利益	774	491	128	186	788			
前年比	1.7%	1.4%	-47.0%	-28.5%	1.9%			
TV/映像	48	38	101	63				
前年比	-70.1%	-37.8%	94.0%	22.0%				
営業利益率	3.5%	2.7%	6.9%	4.1%				
ゲーム	221	170	190	161				
前年比	32.2%	24.2%	2.5%	-21.8%				
営業利益率	13.5%	9.6%	10.3%	7.4%				
Web	154	70	122	130				
前年比	17.6%	-17.4%	181.2%	85.5%				
営業利益率	9.0%	4.6%	7.7%	7.7%				
医療	360	244	-25	-65				
前年比	-5.1%	-15.3%	-	-				
営業利益率	30.7%	21.4%	-	-				
会計	36	-6	56	35				
前年比	33.6%	-129.6%	28.1%	77.0%				
営業利益率	8.2%	-	11.8%	8.5%				
法曹	4	8	-11	21				
前年比	-43.5%	-58.4%	-	238.5%				
電子書籍・著作権	57	57	62	28				
前年比	-	-	-	-				
営業利益率	14.9%	12.3%	13.5%	7.4%				
他	-106	-89	-364	-187				

出所：会社データよりSR社作成

\*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

\*領域別の売上高、営業利益は同社資料の構成比率をもとにSR社算出。

季節性：株式会社メディカル・プリンシプル社の売上は、医師の異動時期によって4月を中心として他にも7月、10月に集中するため、四半期毎の売上高の大小としては、2-4月期>5-7月期>8-10月期>11-1月期となりやすい。一方、経費は売上に対して四半期毎の変動が少ないため、2-4月期に営業利益が集中し、8-10月期、11-1月期は営業損失を計上する傾向となる。メディカル・プリンシプル社は決算月が異なっているため、連結決算上、医療分野の収益は、第1四半期：2-4月期、第2四半期：5-7月期、第3四半期：8-10月期、第4四半期：11-1月期として計上される。これらの結果、同社の連結ベースの営業利益は第1四半期、第2四半期が高く、第3四半期、第4四半期が低くなる傾向がある。

## 2020年2月期第1四半期実績

- ▷ 売上高：8,233百万円（前年同期比11.8%増）
  - ▷ 営業利益：788百万円（同1.9%増）
  - ▷ 経常利益：790百万円（同2.6%増）
  - ▷ 親会社株主に帰属する四半期純利益：507百万円（同11.4%増）
- 
- ▷ 売上高は全てのセグメントで増収となった。クリエイティブ分野（日本）において、制作スタジオを核として人材および制作ニーズに対応した他、医療分野において医師の紹介事業が拡大した。
  - ▷ 利益面について、販売費及び一般管理費が2,631百万円（前年同期比13.8%増）となったが、増収効果によって営業利益以下の各利益は増益となった。販売費及び一般管理費は、各セグメントにおける既存事業の強化および新規事業の立ち上げ等に伴う人員増強や、2018年10月に実施した東京エリアにおけるグループ拠点の移転・集約に伴って増加した。セグメント別では、クリエイティブ分野（日本）およびその他が減益となり、医療分野および会計・法曹分野が増益となった。

セグメント別の概況は以下の通りであった。

なお、当第1四半期より、「クリエイティブ分野（韓国）」は量的な重要性が低下したため報告セグメントから除外し、「その他」に含めた。

### クリエイティブ分野（日本）

- ▷ 売上高：5,927百万円（前年同期比11.8%増）
- ▷ 営業利益：344百万円（同16.8%減）

売上高は前年同期を上回った。利益面では、制作スタジオにおいて利益率の高い制作受託案件が増加したことや、自社媒体を活用した集客の効率化が図ったが、販売管理費の増加によって減益となった。既存事業部門における需要増に伴う人員増強や、新規エージェンシー事業の立ち上げ、VRやAI等の新たな市場への取り組みを強化したことに加え、東京エリアにおける拠点の移転・集約に伴い、販売管理費が増加した。

### 映像・TV・映像技術関連分野

- ▷ 制作スタジオを中心にテレビ番組の企画・制作力を強化し、バラエティ、情報、ドキュメンタリー等地上波、BS番組の需要増に対応する他、動画配信サービスコンテンツへの取り組みを推進した。
- ▷ TVディレクター育成講座開催や日本全国の放送局をネットワーク化する等、サービスを拡充し、TV番組の制作スタッフ数が増加した。また、映像業界に特化した求人情報サイト「映像しごとドットコム」（2017年8月開設）からの採用も伸長した。

### YouTube「オンラインクリエイターズ(OC)」の運用

- ▷ YouTuberによりアップロードされた動画の再生回数が堅調に推移した他、企業やTV番組のYouTubeチャンネルの運用受託が増加した。
- ▷ 2018年5月には、戦略的パートナーである東芝デジタルソリューションズ株式会社が保有するAI「RECAIUS™(リカイアス)」の音声合成技術を活用し、YouTuberに代わって外国語チャンネル運営を行っている。キッズ向け動画の人気YouTuber「キッズライン Kids Line」の英語版サブチャンネル「Kids Line World」を開設運営する等、国内YouTuberに新たな収益化への取り組みを提示し、チャンネル数の拡大を図った。さらに、同技術を活用して海外の人気YouTubeチャンネル「WatchMojo.com」と共同でサブチャンネルの共同運営を開始した。
- ▷ 移転した新オフィス内に動画コンテンツ制作用の「OCスタジオ」を開設し、2019年3月より株式会社超十代と共同で、10代に人気のYouTubeチャンネル「超十代チャンネル ULTRA TEENS Channel」を企画・制作・運営をする他、VTuber等への対応も強化する等、動画市場への取り組みを加速した。

### ゲーム分野

- ▷ 制作スタジオにおいて、制作受託案件や、韓国の現地法人CREEK & RIVER KOREA Co., Ltd.など海外と連携した共同開発、IPを活用した自社開発を推進した。
- ▷ 制作スタジオでは、ゲームの演出効果を高める「VFX」や世界観を左右する「シナリオ」等、ゲーム開発の中心となる人員が所属し、コンシューマー、アミューズメント、ソーシャル分野の受託開発や運営を行った。また、制作スタジオを核として、「クリエイティブ・アカデミー」や「TECH STADIUM」といった業界未経験者のための育成機関を設立し、人手不足と言われるゲーム業界のニーズに対応した。
- ▷ 2018年7月には、シリコンスタジオ株式会社から新設分割によりコンテンツ事業の一部を継承した株式会社クレイテックワークスを、株式取得により連結子会社化した。クレイテックワークス社は、ゲームコンテンツ開発における高い技術力を有しており、同社のクリエイティブ・ノウハウとの融合を進めるとしている。
- ▷ また、eスポーツなどのイベント事業への取り組みも強化した。2019年5月には株式会社ポケモンと120社の参加企業を集め、Nintendo Switch™「ポケットモンスター Let's Go! ピカチュウ・Let's Go! イーブイ」とポケモンカードゲームを使った「ポケモン企業対抗戦」を共同開催した。その他、アニメやゲームなどのコンテンツとのコラボレーションイベント「アトラクションフェスタ」を首都圏各所で開催し、知財流通とイベント運営という新たな収益モデルを確立した。

### VRへの取組み

- ▷ 連結子会社である株式会社VR JapanとIDEALENS社のVRゴーグルを活用した「VR遠隔医療教育通信システム」などのコンテンツ配信システムの開発を行った。また、企業教育研修やアミューズメント施設をはじめ、ホテルや観光施設、イベントや展示会などビジネス領域においてハードからコンテンツまで一貫したソリューションの提供を進め、実績を積み重ねた。

### Web分野

- ▷ Web業界、広告業界および出版業界に特化した業界最大級の求人情報サイト「Webist(ウェビスト)」によりWebクリエイターの採用とネットワークを強化し、エージェンシー事業が伸長した。
- ▷ 2016年2月期に拡張したWebスタジオにおいて、官公庁等の大規模Webサイトの制作案件が増加した。

- ▷ また、AIやIoT領域の求人情報サイト「Symbiorise (シンビオライズ)」を開設し、データ分析者を企業に紹介する等、デジタルマーケティング分野のサービスを拡充した。

#### 出版分野

- ▷ Amazon Kindleを始めとした複数の電子書店に対し、同社が取次を行なう電子書籍取次事業において、配信数、ダウンロード数が順調に増加した。
- ▷ 中国での映像コンテンツの需要拡大を捉え、日本の原作を紹介し、現地で映像化する権利を仲介する海外版權エージェントが伸長した。
- ▷ 2019年4月には、小説や落語コンテンツを音声付などのチャット形式で読み進めるストーリーアプリ「Portie (ポルティ)」の配信をスタートした。

#### 建築分野

- ▷ 一級建築士を紹介するエージェント事業が堅調に成長した。特徴的な賃貸物件をプロデュースする「CREATIVE RESIDENCE®」の新シリーズである屋内ガレージ付きの戸建賃貸「STAPLE HOUSE®」を開始し、オーナーからの引き合いが増加した。
- ▷ 2019年2月には、銀座三越にオープンしたイタリアンレストランの店舗デザインをプロデュースする等、約1,000社の設計事務所とのネットワークを活かした、建築プロデュース事業の実績を積み重ねた。

#### 新たな分野への取り組み

- ▷ AI領域を中心とした研究者や博士の紹介事業を行なうプロフェッサー・エージェンシーにおいて、研究者の起業化支援を本格的に開始した。第1弾として、慶應大学生による医療とAIをテーマとしたスタートアップのMETRICA株式会社の営業、契約、プロジェクト管理をサポートした。また、2019年2月には、生物学や化学等、生命科学の研究開発を補佐する研究開発支援者のエージェンシー事業を開始した。
- ▷ 2018年3月に開始した「舞台芸術エージェンシー」事業では、プロの役者が企業研修における理念浸透を演劇で行なう「企業史演劇」をサービスとして開始する等、舞台芸術家の活躍の場を広げる営業活動を展開した。
- ▷ 2019年3月には、各分野のプロフェッショナルが専門技術と語学力を共に高める「プロフェッショナル語学」サービスを開始した。

#### 医療分野

- ▷ 売上高：1,322百万円（前年同期比11.8%増）
- ▷ 営業利益：472百万円（同29.4%増）

売上高および営業利益は前年同期を上回った。全国各地での慢性的な医師不足、地域的偏在を背景に、医師へのニーズは引き続き高い。また、医師の紹介事業の強化のため、広告宣伝費を投下し医師の採用を強化したこと、人員の効果的な配置を進めたことが業績に寄与した。

医療機関や自治体、医師や看護師の多様なニーズに応えるべく、医師の紹介事業を中心に、医学生・研修医を対象とした「レジナビフェア」、臨床研修情報サイト「レジナビ」、医師の転職・求人・募集情報サイト「Medigate (メ

ディゲート)」、医師を対象に提供する教育プログラム「民間医局アカデミー」等のサービスを展開した。また、2018年9月に東関東支社を千葉県船橋市に開設し、全国16拠点の体制となった。

### 会計・法曹分野

- ▷ 売上高：514百万円（前年同期比16.3%増）
- ▷ 営業利益：56百万円（同40.9%増）

会計・法曹分野における専門的な能力を有するプロフェッショナルへのニーズは堅調であり、売上高および営業利益は前年同期を上回った。

関連各種団体との関係強化、クライアント企業・事務所との共同セミナーの開催等を通じ、業界内における認知度向上を図り、エージェンシー事業の拡大に努めた。

また、これまでに培ったネットワークを活かし、会計事務所やその顧問先の事業承継ニーズに対応すべく、「事業承継・M&A支援サービス」を本格的に開始した。また、多様な会計分野の働き方に対応するために、在宅で活躍する会計人材の紹介事業を行なう等、サービスを拡充した。

法曹領域では、世界中の弁護士を繋ぐSNSプラットフォーム「JURISTERRA（ジュリステラ）」に、「RECAIUS™（リカィアス）」の音声認識技術を活用した「音声書き起こしエディタ」の機能を追加する等、本格稼働に向けた開発を進めた。

### その他の事業

- ▷ 売上高：514百万円（前年同期比16.3%増）
- ▷ 営業損失：79百万円（前年同期は35百万円の営業損失）

売上高については、IT分野におけるエージェンシー事業が伸長したこと等により、前年同期を上回った。利益面では、VRやAI等の新たな市場への取り組みを強化したことにより、前年同期を下回った。

- ▷ IT分野のエージェンシー事業を展開するリーディング・エッジ社では、ロボット・AI等、市場ニーズに合わせ、プログラム言語Pythonに精通した4,000名以上のエンジニア等のネットワークを構築し、IT技術者の採用や育成、紹介に取り組んだ。
- ▷ ファッション分野のエージェンシー事業を展開するインター・ベル社においては、不採算案件の見直し等事業基盤の再構築を進めるとともに、販売員の育成を強化した。
- ▷ 人材メディア事業を展開するプロフェッショナルメディア社においては、広告・Web業界専門の求人サイト「広告転職.com」と2018年7月に全面リニューアルした広告・Web領域の派遣求人サイト「クリエイティブ派遣.com」を中心としたメディア事業の収益基盤が整い、映像分野やファッション分野等と同様のビジネスモデルを展開し、収益の多様化を図った。
- ▷ 連結子会社VR Japan社は、アイデアレンズ社の一体型VRヘッドゴーグルの国内での拡販を図るため、同社と共同でマーケティング活動を行なった。建設業界向けの「VR安全衛生教育サービス」を推進する等、事業基盤の拡充を図った。



- ▷ AIを用いたシステムの企画・開発・販売・運用・保守事業を行なう連結子会社株式会社Idrasysは、インツミット社が開発したAIプラットフォーム（インテリジェントロボット）「SmartRobot™」の日本における事業展開を行った。「SmartRobot™」を活用した自動応答システムである「チャットボット」を中心に国内での販売活動を強化し、そこから得た情報によりAIを用いた日本向けシステムの研究や開発を進めた。複数のAIベンダーと提携し、顧客にとってのAI活用のソリューションパートナーとしての位置づけを目指す。
- ▷ データ分析サービス事業を展開する連結子会社エコノミックインデックス株式会社は、独自の分析手法で顧客に改善策を提案するデータ解析サービスやコンサルティングでの収益化に取り組むとともに、データ解析結果に基づくソリューションサービスを提供した。

このリサーチメモは、掲載企業の[最新版レポート](#)にも掲載されています。



株式会社シェアードリサーチは今までにない画期的な形で日本企業の基本データや分析レポートのプラットフォーム提供を目指しています。さらに、徹底した分析のもとに顧客企業のレポートを掲載し随時更新しています。

## ディスクレーム

本レポートは、情報提供のみを目的としております。投資に関する意見や判断を提供するものでも、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。SR Inc.は、本レポートに記載されたデータの信憑性や解釈については、明示された場合と黙示の場合の両方につき、一切の保証を行わないものとします。SR Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。

本レポートの著作権、ならびに本レポートとその他Shared Researchレポートの派生品の作成および利用についての権利は、SR Inc.に帰属します。本レポートは、個人目的の使用においては複製および修正が許されていますが、配布・転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。SR Inc.の役員および従業員は、SR Inc.の調査レポートで対象としている企業の発行する有価証券に関して何らかの取引を行っており、または将来行う可能性があります。そのため、SR Inc.の役員および従業員は、該当企業に対し、本レポートの客観性に影響を与える利害を有する可能性があることにご留意ください。

## 金融商品取引法に基づく表示

本レポートの対象となる企業への投資または同企業が発行する有価証券への投資についての判断につながる意見が本レポートに含まれている場合、その意見は、同企業からSR Inc.への対価の支払と引き換えに盛り込まれたものであるか、同企業とSR Inc.の間に存在する当該対価の受け取りについての約束に基づいたものです。

## 連絡先

株式会社シェアードリサーチ / Shared Research Inc.  
東京都文京区千駄木3-31-12  
HP: <https://sharedresearch.jp>  
TEL : (03)5834-8787  
Email: [info@sharedresearch.jp](mailto:info@sharedresearch.jp)